

## 後 記

先年マッキンレー峰に登頂し、その下山中に遭難死した植村直己は、生前、きらいなものの一つとして、「定められた時間」を上げていたという。このことを知った時、それまで特に好感を抱くこともなかったこの探険家に、感動的な共感を覚えた。まことに多様な、かつ深い意味で、時間的制約ほど非人間的なものも少ないのではないか、と感じていたからである。

『法経論集』は、改めて言うまでもなく定期に刊行される。刊行実務の担当者は、自身が時間的制約を受けると同時に、それを多くの人に強いるという気の重い役を果さねばならない。論集は研究機関としての大学の顔なのだから、とは思いつつも、原稿不足・発行困難の状態が続くと、つい、どうしてきまった時にこの顔を無理に出さねばならないのか、と疑問の声を上げてしまう。

大学創立40周年を記念するこの特輯についても、事態は同様だった。いや、いつにも増して気を重くし、疑問を強めながら、いつにも増して様々のお願いや注文を繰り返し、「定められた時間」を強制し続けた。うるさいと思われた方も少なくないと思う。

にもかかわらず、ご多忙の中をご寄稿下さった方々をはじめ、事務、原稿整理、印刷、製作、等を担当して下さい下さった方々も、不快の念を表わすこともなく、積極的にご協力下さった。初めは成否が懸念された特輯がこのように何とか無事、刊行されるのは、ひとえにこれらの方々のご協力のおかげである。深謝申し上げたい。願わくは、この特輯が40歳を迎えた愛知大学の顔として輝かんことを。

(1987.1.25., 会務委員会 S.)

### 愛知大学創立四十周年記念特輯

昭和62年2月25日印刷		愛知大学法経論集	
昭和62年2月28日発行		経済・経営篇Ⅰ第113号	
〔非売品〕			
愛知大学法経学会			
編集者	代表	石井吉也	
製作		雁思	社
印刷		日大	印刷
製本		中部	製本
<hr/>			
郵便番号 440		豊橋市町畑町	
発行者		愛知大学法経学会	

経済・経営篇Ⅰには経済学科関係の、同Ⅱには経営学科関係の、論文等を掲載した。